

ベニズワイガニに日本海系群（知事許可水域）の 資源管理について

令和7年5月27日（火）

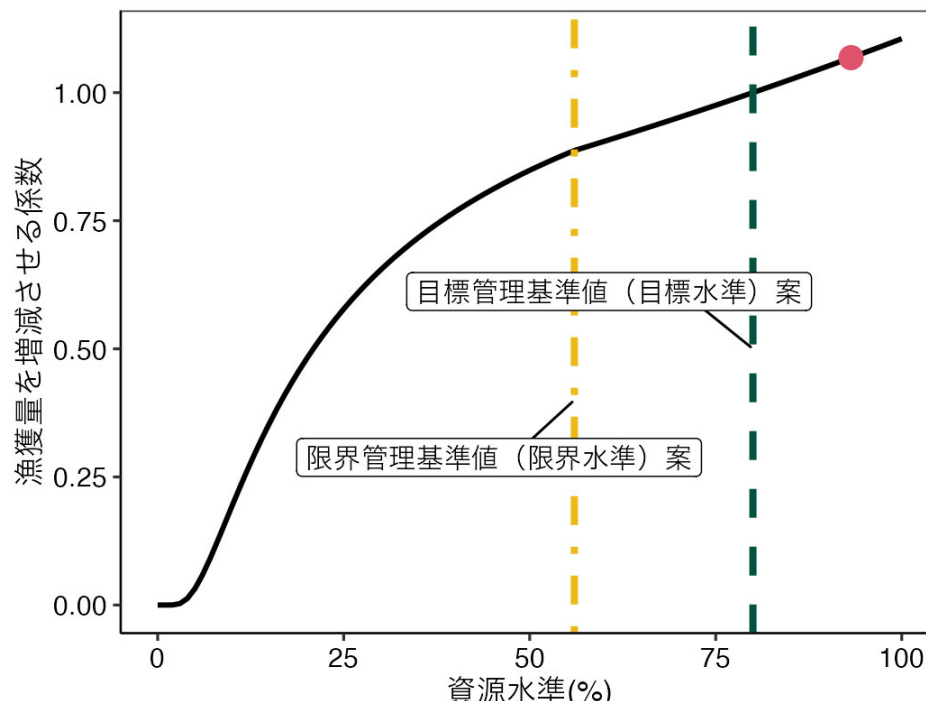
令和7管理年度TAC設定に関する意見交換会
～ベニズワイガニ日本海系群（知事許可水域）～

水産庁

1. 資源管理目標(案)について

資源評価に基づき研究機関から提案された資源管理目標の案を採用する。

資源管理の目標等	資源量指標値	資源量水準	漁獲量を増減させる係数
目標管理基準値(案) (回復・維持する目標となる資源水準の値)	460,420	80.0%	1.000
限界管理基準値(案) (下回ってはいけない資源水準の値)	401,629	56.0%	0.887
現状の値(2023年)	515,628	93.2%	1.07

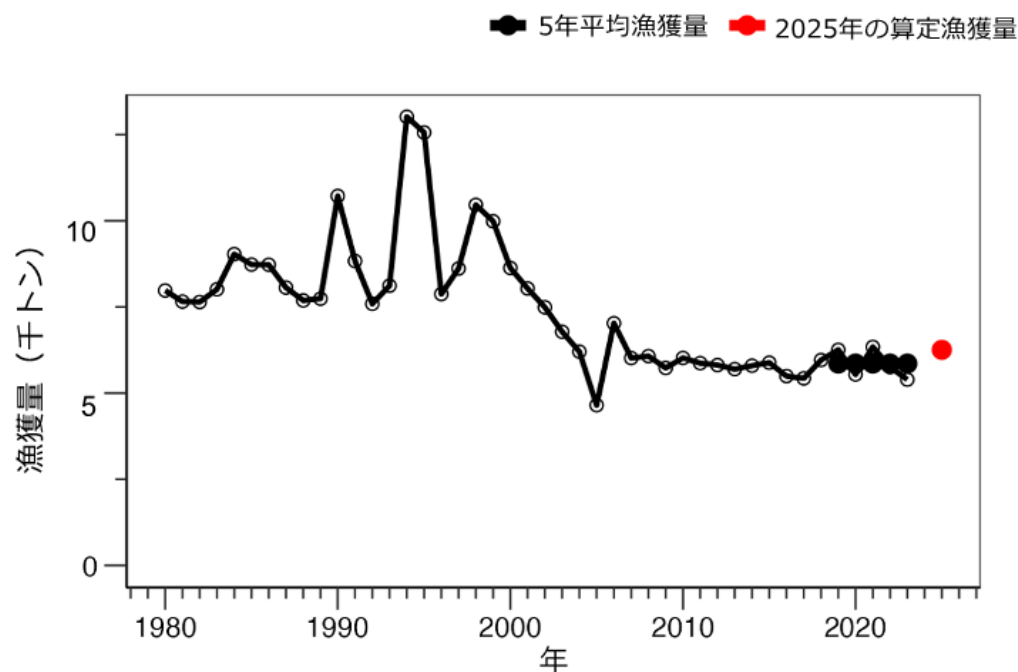


● 2023年の資源水準

2. 漁獲シナリオ(案)について

- 資源評価に基づき研究機関から提案された漁獲シナリオの案を採用する。
- その場合、**2025年漁期の生物学的許容漁獲量(ABC)**は、直近5年間(2019～2023年漁期)の平均漁獲量(5,855トン)に、直近(2023年漁期)の資源量水準から求めた「漁獲量を増減させる係数(1.07)」を乗じて算出した**6,254トン**となる。
- TACは、6,254トンの範囲内で設定する。

【漁獲量の推移と2025年の算定漁獲量】



ABCの算定(2025)

直近5年間の平均漁獲量 (2019～2023)	5,855トン
資源量水準から求められた係数 (2023)	1.07
ABC	<u>6,254トン</u>

3. 管理の対象範囲(案)について

《分布図》

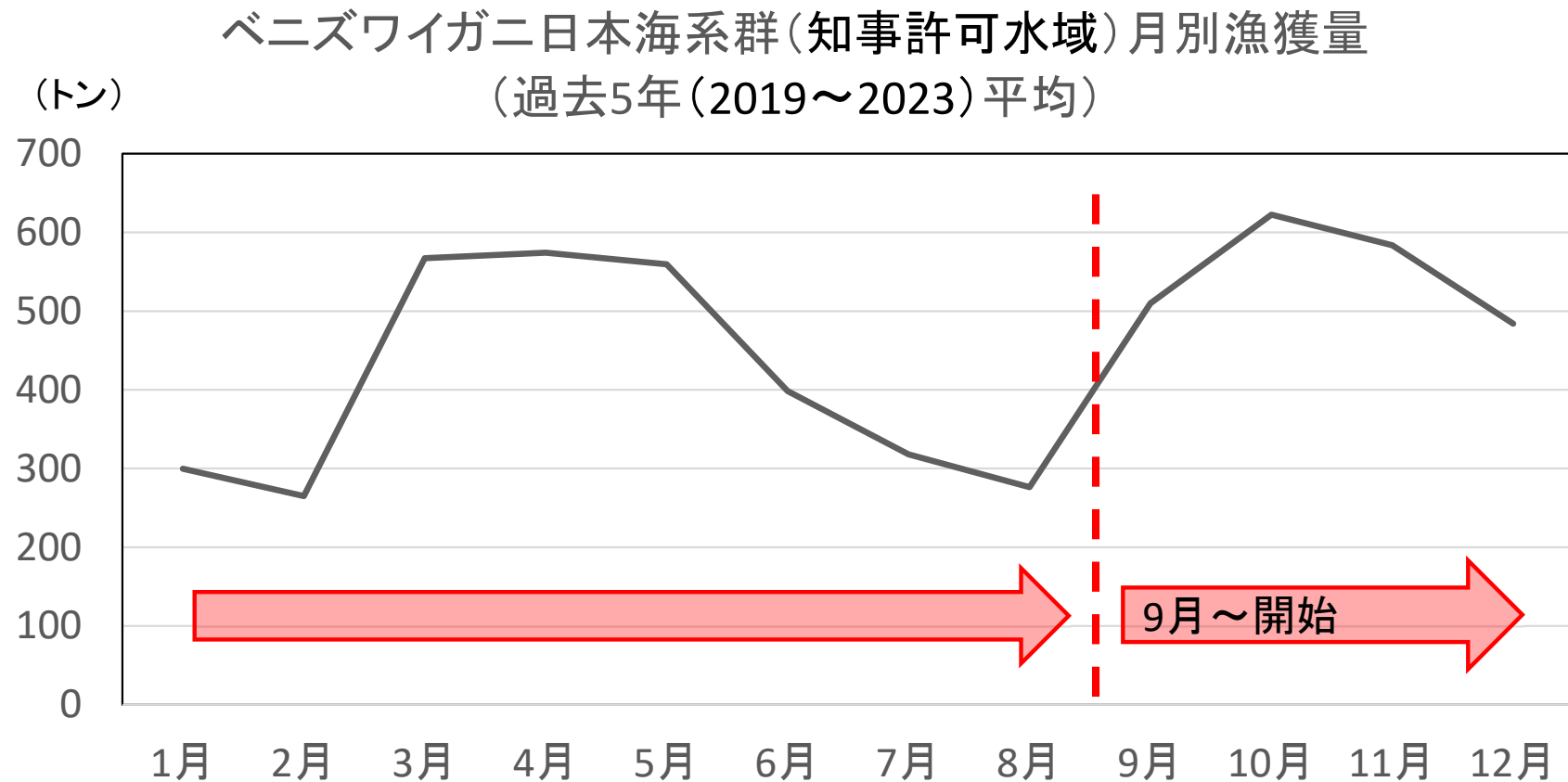
- 資源評価の対象水域(べにずわいがに知事許可漁業が対象とする全ての水域)に含まれる府県を対象とする。
- 具体的には、以下のとおり。

青森県、秋田県、山形県、新潟県、
富山県、石川県、福井県、京都府、
兵庫県

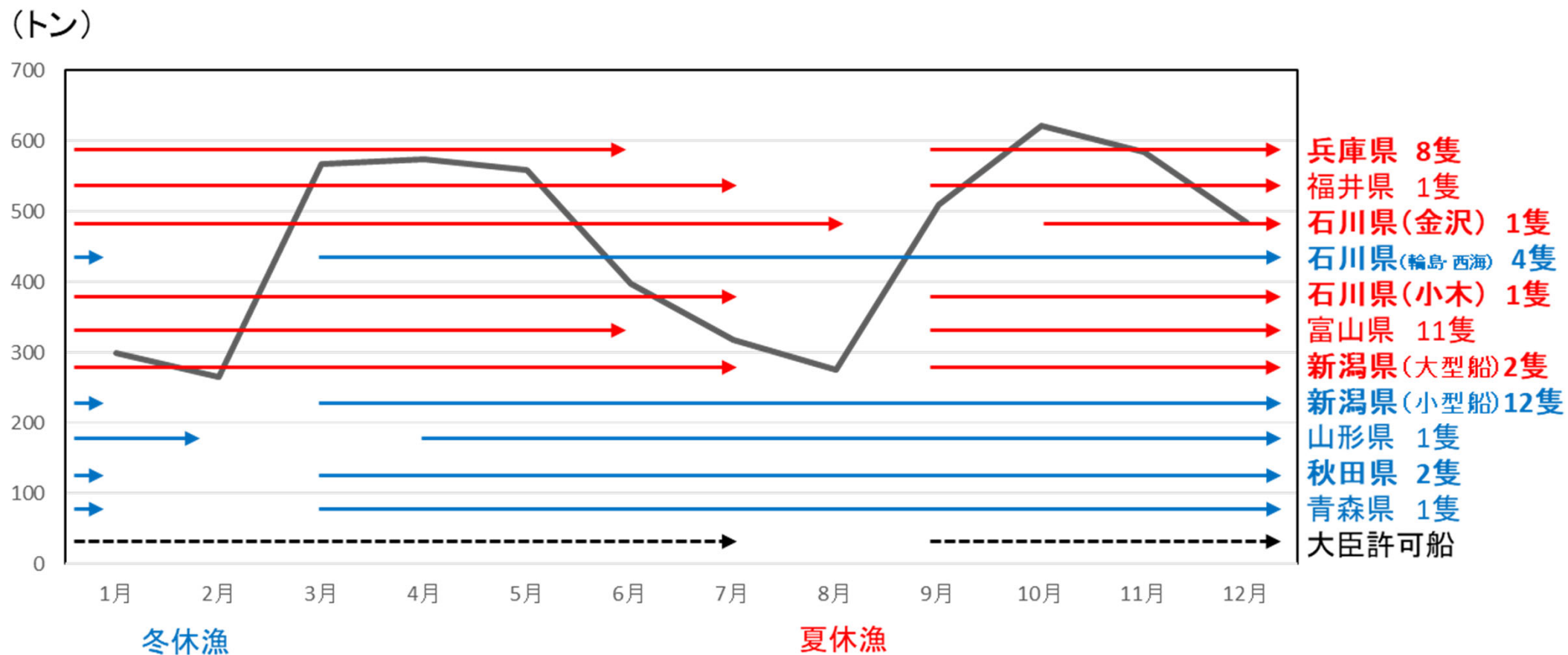


4. 管理期間(案)について

4月前後と11月前後の漁獲量が多いが、ベニズワイガニ日本海系群(大臣許可水域)の管理期間との横並びを踏まえ、**9月～翌年8月**とする。



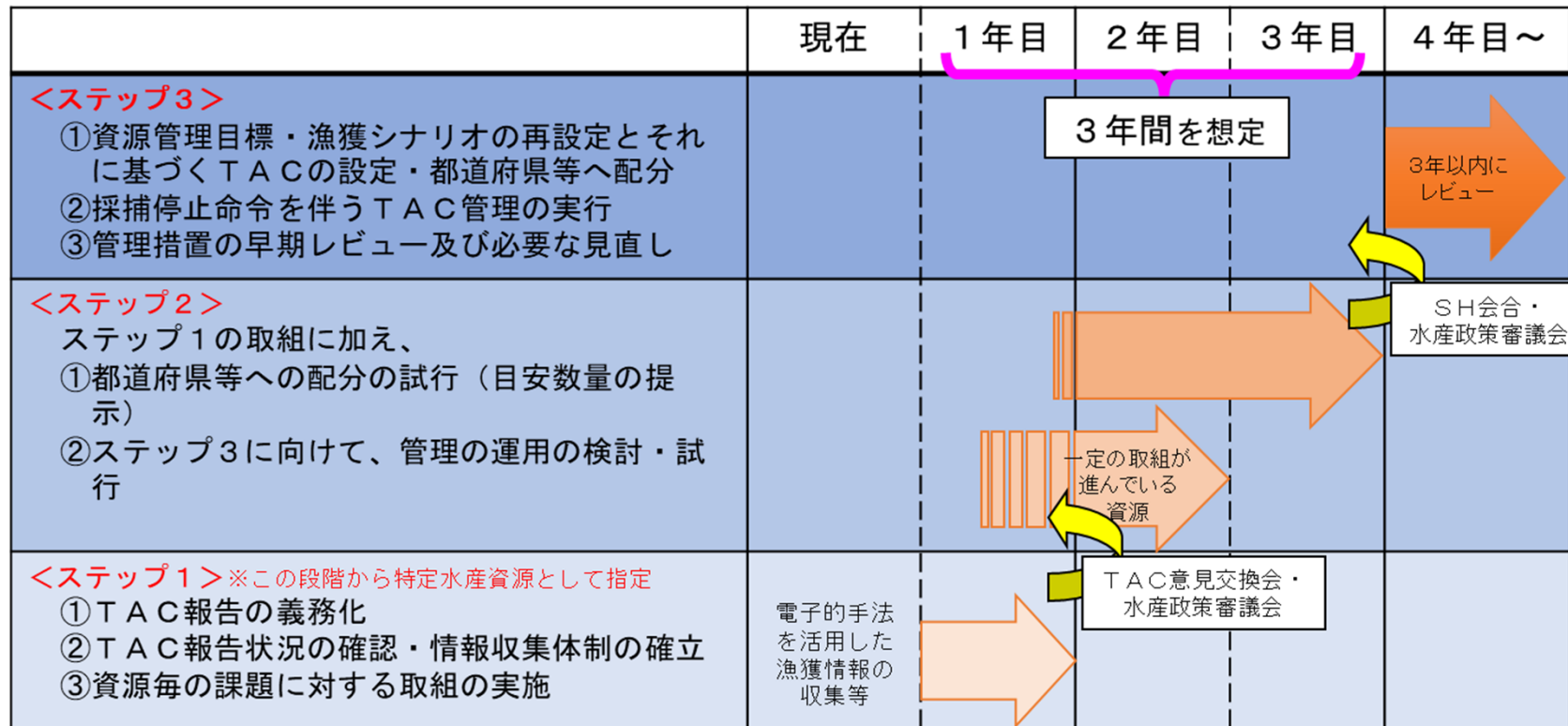
(参考:各県の操業期間及び隻数)



5. その他(ステップアップ管理について)

- 新たなTAC資源については、通常のTAC管理への移行までのスケジュールを明確にした上で、TAC管理導入当初は柔軟な運用とし、課題解決を図りながら段階的に順次実施する「ステップアップ管理」を導入。
- べにずわいがに日本海系群(知事許可水域)については、ステップ1を令和7管理年度から開始。
- ステップ2は、令和8管理年度から開始することを想定し、令和9管理年度中にステップ2までの取組に十分な進展があった場合に、令和10管理年度からステップ3の開始を目指す。

【ステップアップ管理のイメージ】



6. その他(資源評価の高度化について)

2系ルールの改善及び1系ルールの移行に向けて、必要なデータ・情報について整理するとともに、漁業者が収集するデータの活用を含め、引き続き検討を進める。

(1) 2系ルールの改善

- ベニズワイガニの資源状況・生態的特性を反映した2系ルールの改善の検討

(2) 1系ルールへの移行(MSYの推定)

- 資源量指標値を用いた資源量推定(漁具能率の把握)
- 調査拡充による不足データ(例:サイズ組成)の収集等
- 以上をもとにした、MSYの推定や適切な目標管理基準値の設定

7. 今後のスケジュールについて

時 期	事 項	具体的な内容等
令和7(2025)年5月	• 資源管理基本方針の変更案のパブリックコメント	• べにずわい日本海系群(知事許可水域)の資源管理方針の案について、パブリックコメントを実施(期間:5月4日~6月2日)。
	• 令和7(2025)管理年度TAC設定に関する意見交換会(5月27日)	• 最新の資源評価結果を説明したのち、令和7(2025)管理年度のTAC及び配分の案について出席者と意見交換(ステップ1のため、具体的な配分量は設定しない)。
令和7(2025)年6月	• 水産政策審議会資源管理分科会への諮問・答申(6月9日)	• 資源管理基本方針の変更案及びTAC並びに配分の案について諮問・答申。
令和7(2025)年9月	TAC管理開始	管理期間:9月1日~翌年8月末日